J A 御中 (営農担当部署)

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会 (事務局: J A福岡中央会 担い手・営農サポートセンター) (公 印 省 略)

### 営農情報6

## 大豆の今後の管理作業について

本年の大豆(フクユタカ)は、断続的な降雨により播種適期の7月20日までに全体の41%の播種が終了しましたが、前年同期の92%を下回っています。 今後は、以下の点に留意した生産管理をお願いいたします。

# は種が完了したほ場

【中耕・培土の実施】・・・根系の発達と地上部の生育を促し、雑草防除にも有効!

・中耕・培土は本葉が $2\sim3$ 葉期から $5\sim6$ 葉期までに 2回、株元に土が十分寄るように実施。

### 高収量者のワザ

1回目:中耕ローター正転+培土板を付けて実施

2回目:中耕ローター逆転で深く土寄せ



図 土寄せの良い例、悪い例

【冠水した場合、播き直しの判断目安】・・・健全株が7割以下と見込まれる場合

・播種後出芽までに長時間冠水した場合、出芽の可能性が低い。また、冠水により株 に泥が付着したままの場合、枯死する危険性が高い。

【梅雨明け後の乾燥対策】・・・開花期~莢伸長・子実肥大期には適度な土壌水分が必要!

- ・本暗きょの栓を閉じて土壌水分の維持に努める。
- ・かん水が可能なほ場は、うね間かん水を適切に実施する。
- ・中耕前10日間が少雨で土壌が乾燥した場合は、中耕を控える。

## 今後、は種するほ場

- ・土壌水分が適度になったら早急に播く。
- ・生育量を確保するため7月中旬播きより 播種量を増やす(右表参照)。
- ・基肥を窒素成分で2kg/10a 施用する。 (基肥の施用が出来ない場合は、 中耕・培土の際に追肥を行う)
- ・「狭畦栽培」(下図参照)を検討する。

#### 表 時期別のは種量(目安)

播種期	7月11~20日	7月21~31日	8月1~5日
条間(cm)	7 0	60~70	50~60
株間(cm)	20~15	15~10	15~10
播種量(kg/10a)	$4\sim5$	6~8	$7 \sim 9$
1条1mの目標 出芽本数	1 4~18	20~25	25~30

#### 狭畦栽培の概要

うね幅:150cm

・条間と条数: 50cm、3条

• 株 間:15cm

・中耕・培土はディスク式中耕除草機を 用いて実施する。

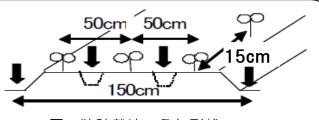


図 狭畦栽培のうね形状

\*下方向の矢印は中耕培土を実施する箇所を示す。